

人 権 政 策 部

人権政策課・男女共同参画課・同和課
八幡町市民館・下郡市民館・寺田市民館

人権政策部は、人権尊重、差別撤廃のための啓発活動、運動を行っています。
本年度より3つの市民館も人権政策部の所属となりました。

人権政策部 人権政策課

事業名	人権啓発推進事業	予算額	12,597千円
-----	----------	-----	----------

事業概要

部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃と市民一人ひとりの豊かな人権感覚を磨くため、各支所関係部署と連携を図りつつ、様々な事業を行います。

1. 全市的な人権啓発活動の推進

全市・各支所ごとに効果的な人権啓発推進事業を計画し、それに基づき地域に根ざした啓発活動を行っていきます。

特に、11月11日～12月10日を「差別をなくす強調月間」として、各支所と連携し、重点的に街頭啓発活動を行ったり、人権に関する催しを開催します。

2. 人権作品の募集

市内小中学生、一般（高校生以上）を対象に、人権に対する思いを作文やポスター・標語で表現した作品を募集します。優秀な作品は作品集として市内関係機関に配布し、市民のみなさんに閲覧していただいたり、ポスター・標語を印刷した啓発物品を街頭啓発活動等で配布するなど、様々な手段で人権意識の高揚を図ります。

3. 伊賀市人権施策総合計画の策定

合併前より旧市町村で行った人権に関する意識調査結果をもとに「伊賀市人権施策総合計画」を策定し、全市一貫した人権施策を進めます。

4. 人権啓発草の根運動の推進

人権啓発地区草の根運動推進会議が行う各種人権講演会や、研修会等を支援し、住民自らが身近なことから始める啓発活動への意欲の高揚を図ります。

事業名	非核平和推進事業	予算額	1,025千円
-----	----------	-----	---------

事業概要

世界で唯一の被爆国である我が国にとって、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願うことは国民共通の願いです。当市でも、平成17年6月24日『伊賀市非核平和都市宣言』を行い、永久の平和を希求することを誓いました。その主旨に基づき、戦争と原爆の悲惨さを風化させず、負の遺産として次世代に語り継いでいく取り組みを積極的に進めていきます。

1. 戦争資料展・原爆展の開催

終戦、原爆投下より60年を経過したことにより、戦争や原爆投下の事実を知っている人がだんだん少なくなってきました。昨年、戦後60年を機に市民に呼びかけ開催した資料展を参考に、本庁・各支所で「戦争・原爆」をテーマにした展示コーナーを設置し、非核平和を訴えます。

2. 非核平和推進中学生広島派遣事業

次世代を担う市内の中学生を広島に派遣し、平和記念式典への参列や原爆資料館の見学を通じて平和の尊さや戦争の愚かさを実際に肌で感じる機会を持ってもらうことを目的として実施しています。派遣後は、それぞれの中学校において現地での学習の成果を発表するなど、校内平和学習の一端を担っています。

3. 平和学習推進事業

市内の中学校が独自に行っている平和学習にかかる経費を助成し、中学生が「平和」の尊さについて理解を深める事業を支援します。

事業名	住民主体の人権教育の推進事業	予算額	2,415千円
事業概要			
<p>人権に関わるさまざまな問題、とりわけ同和問題の解決に向けて取り組むために、市民のみなさんと行政が協働して同和教育を推進します。</p> <p>1. 「人権フェスティバル2006」の開催</p> <p>伊賀市の旧市町村で組織された人権 NPO 団体や、人権ネットワーク団体に呼びかけ、全市的規模での人権・同和問題を考える催しを計画します。</p>			

人権政策部 男女共同参画課			
事業名	男女共同参画推進事務経費	予算額	1,291千円
事業概要			
<p>21世紀の最重要課題である男女共同参画社会の実現をめざして実施する、男女共同参画情報紙「きらきら」発行、女性法律相談、男女共同参画審議会開催等の経費です。</p> <p>「きらきら」発行経費 506千円</p> <p>弁護士相談経費 222千円</p> <p>審議会開催経費 244千円</p>			
事業名	男女共同参画社会促進事業経費	予算額	826千円
事業概要			
<p>伊賀市内の男女共同参画社会の実現をめざす37団体と個人がネットワークを組み開催するフォーラム等の経費です。</p>			
事業名	男女共同参画講座事業経費	予算額	151千円
事業概要			
<p>男女共同参画推進のための連続講座実施経費です。</p>			

人権政策部 同和課

事業名	同和行政事務管理経費	予算額	15,311千円
-----	------------	-----	----------

事業概要

同和行政の総合的推進にかかる事業費です。人権に配慮したまちづくり施策等いまなお根強く残る部落差別解消に向けた地域の実情に応じた生活環境の整備、就労機会の確保等、また国民的課題としての部落解放を目指す団体の研修及び事業等への助成金等です。

なお、同和課の一般事務経費等もここに含まれています。

事業名	同和行政推進計画事務経費	予算額	3,539千円
-----	--------------	-----	---------

事業概要

伊賀市における今後の同和行政施策について、「伊賀市同和行政推進計画」を策定します。

今年度については、伊賀、大山田及び青山支所管内において生活実態調査を行います。

事業名	改良住宅ストック総合改善事業	予算額	7,600千円
-----	----------------	-----	---------

事業概要

改良住宅（8号棟・9号棟）について、電気許容量改修工事を行います。

事業名	改良住宅ストック総合活用計画策定事業	予算額	3,500千円
-----	--------------------	-----	---------

事業概要

改良住宅の総合的・効率的な活用に向けて、改良住宅等の概要調査と改修等を行うため、改良住宅ストック総合活用計画の策定を行います。

事業名	福祉資金貸付事業	予算額	9,363千円
-----	----------	-----	---------

事業概要

福祉資金貸付償還業務にかかる納付書等の印刷・発送業務、収納金電算管理システム保守点検、督促業務などを行います。

また、予算額9,363千円のうち8,835千円については、旧市町村が三重県から貸付事業資金として借入れた市債の返還に充てるため、福祉資金貸付事業基金に積立ってます。

人権政策部 八幡町市民館

事業名	八幡町市民館管理経費	予算額	18,969千円
-----	------------	-----	----------

事業概要

八幡町・久米町・木興町市民館及び第1～6生活館を管理運営するための経常経費です。
17年度に引き続き、隣保館運営費等補助金内の隣保館モデル事業(6,000千円×3/4補助対象)を実施します。事業内容は「きずなを結び合い、深め合うまちづくり支援」事業として、主に「やはた人権まちづくり協議会」及び「NPO法人人権ネットワークやはた」との連携により、八幡町住民はもとより周辺地区住民との絆を結び深め合うことで差別意識を払拭し、住民一人ひとりの自己実現が図れる「まちづくり」事業推進に向けた支援事業を展開します。

事業名	地域交流促進事業経費	予算額	428千円
-----	------------	-----	-------

事業概要

地域住民の要望に応じて、年間通して土曜日も市民館を開館し、ヘルストロンの利用開放を行い、その際月2回程度は、各種教室・講座等を実施します。隣保館運営費等補助金内で一部補助を行います。

事業名	八幡町市民館事業経費	予算額	2,610千円
-----	------------	-----	---------

事業概要

各種教室講座や市民館だよりの発行、文化祭等市民館事業にかかる経常経費です。
隣保館事業費補助金(事業費の1/2)で補助を行います。

事業名	共同浴場維持管理経費	予算額	10,380千円
-----	------------	-----	----------

事業概要

伊賀市営共同浴場を維持管理するための経常経費です。
本年度より指定管理者制度を導入します。

事業名	施設改修事業経費	予算額	1,600千円
-----	----------	-----	---------

事業概要

伊賀市営共同浴場の施設改修を行うための経常経費です。

具体的な内容は

- ・ 老朽化により壁が剥がれ、畳が傷んでいる管理人室の床及び壁の張替え工事を実施します。
- ・ 3年ごとに実施しなければならない循環濾過器の濾材入替工事を実施します。
- ・ 老朽化により部品交換が不可能となった脱衣場の空調機の改修工事を実施します。

人権政策部 下郡市民館

事業名	下郡市民館管理経費	予算額	3,969千円
-----	-----------	-----	---------

(担当：下郡市民館)

事業概要

伊賀市隣保館条例に基づき、人権・同和問題の速やかな解決に向けて、事業活動の拠点として、また、高齢者等の社会福祉施設として効率的な施設維持管理を行う経費です。

事業名	下郡市民館事業経費	予算額	1,673千円
-----	-----------	-----	---------

(担当：下郡市民館)

事業概要

生活相談・職業相談・就労相談・健康相談の実施や老人クラブ等各種団体の育成支援、地区児童・生徒の健全育成、同和問題の解決に向けての啓発活動として広報誌の発行、周辺地域との交流促進を目的とした教室・講座を開催します。

人権政策部 寺田市民館

事業名	寺田市民館管理経費	予算額	4,125千円
-----	-----------	-----	---------

事業概要

施設の管理運営、予算の適切な執行、諸経費の節減に努め、ヘルストロンの利用など地域住民に交流の場を提供するとともに、市民館の基本的方針に基づいた諸事業を計画的に実施します。

事業名	寺田市民館事業経費	予算額	1,995千円
-----	-----------	-----	---------

事業概要

同和問題をはじめとするあらゆる人権に関する啓発を行うとともに、地域住民の福祉の増進や積極的な交流を図るため、各種教室、講座の開設等、教養・文化活動を実施します。